

シマイヌワラビ

Athyrium tozanense (Hayata) Hayata
イワデングダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠA類

選定理由

本県が北限。県内で現在知られている生育地は、嶺北に1か所のみで、個体数は数十株あり現在環境も良好である。しかし道路より少し離れているものの、道路工事、採取圧に脅かされているので、絶滅危惧Ⅰ類とした。

種の特徴

常緑性のシダ類。葉身は披針形で2回羽状。小羽軸の表面に著しいとげをもつ。葉は高さ30cm前後、胞子のうは小羽軸に接して付く。湿った林床に生育する。

分 布

全国分布は本州（福井県、岐阜県以西）～九州。県内分布は嶺北の山地に1か所生育している。

生育を脅かす要因

道路工事、採取圧、産地局限。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○								

イワヤシダ

Diplaziopsis cavaleriana (H.Christ) C.Chr.
イワデングダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

自然度の高い落葉広葉樹林の林床に生育する夏緑性のシダ類。環境に左右されている。生育地も県内の深山に稀である。株数減少が目立ってきているので、絶滅危惧Ⅰ類とする。

種の特徴

葉柄は高さ30～60cm、わら色。葉身は披針形から広披針形、高さ30～70cm、幅15～30cm、側羽片は8～12対、三角状狭披針形、単羽状、胞子のうは羽軸に線形で中肋に斜めに付ける。

分 布

全国分布は、本州、四国、九州。県内分布は嶺北、嶺南に5か所。

生育を脅かす要因

森林伐採、道路工事、堰堤、採取圧。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○					○	○								○	

ウスバミヤマノコギリシダ

Diplazium deciduum N.Ohta et M.Takamiya
イワデングダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地は限られ、個体数も少なく、主に嶺南に生育している。シカ食害のため減少している。

種の特徴

夏緑性のシダ。羽片が深く切れ込むほか、葉質も草質であることからミヤマノコギリシダと区別ができる。自然環境のよい森林の林床に生育している。北限に近い。

分 布

全国分布は本州（石川県以西）～九州。県内分布は嶺南に生育。

生育を脅かす要因

森林伐採、シカ食害。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、渡辺定路（2003）、福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○	○	○											